

師

走となり、1日過ぎるのが早く感じるようになりました。今年 は去年に引き続きコロナ災禍で自粛や 中止になった行事が多くあったなか、 普光寺の御開帳がおこなわれるなど少 してはありますが、いい方向へと変化 しているのかもしれない。

私はお寺での法務のかたわら住職の 父と農業をしています。主に桃を栽培 していますが、家庭菜園のような形で 多くの野菜も育てています。私一人で いくつかの野菜を育てましたが、納得 のいくものではありませんでした。し かし、知り合いや親戚にそれを渡した

います。

誰かに感謝できる人は、自分の心に 余裕がある人が多いと思います。もし、 心に余裕がなければ、誰かから「あり がとう」と感謝されても、素直に受け 取れなかったり、言葉遣いや行動が少 し荒っぽくなって、相手を悲しませて しまったりするかもしれません。だか らこそ、自分自身を大切にすることは 誰かに優しくできることにもつながっ ていくのではないかと思います。

『無量寿経』というお経には、阿弥 陀仏がまだ法蔵菩薩であった昔、仏と なるために長い間修行していたときの

自分自身に微笑みを



Congratulate yourself on the efforts you made this year and greet the coming year in a new spirit.

揮毫 大本山善導寺 第67世法主 阿川文正台下

時に、「大きいね」「美味しかったよ」と感謝の言葉をいただきました。

私自身、どうしても他人と比べて「あれはできない」「これはできない」「何でこんなことで失敗するんだろう」と思ってしまう。しかし、私が育てた不格好な野菜を渡して感謝の言葉をもたらしたことで、こんな小さなことでも誰かから認めてもらえる、少しでも喜んでもらえるのだと思いました。

そして、少し照れくささもありませんが、微笑んで「こちらこそありがとうございます」と言いました。この感謝は自分自身にも向けて言ったのだと思

お話があります。この法蔵菩薩の修行のなかで、自分や他人を傷つけず、優しい言葉遣いをし、自分や他人を大切にすることが説かれています。日常生活において困っている人がいれば、優しく接することはもちろん大切です。しかし、私たちは自分自身をあまり大切にできていないように思います。

自分自身を大切にするために、1年の最後に家族や友人、そして自分自身にも「お疲れさま」とねぎらいの言葉をかけ、新たな気持ちで新年を迎えませんか。

(山梨県山梨市 円福寺 齊藤晃道)